

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 新得工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	特記仕様書 30-6-4 ずり処理工 A2 は場外ずり仮置場までの運搬となっていますが、これは冬期のトンネルずりを仮置きするものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
2	特記仕様書 30-6-4 ずり処理工 A2 の作業内容として、「場外ずり仮置場までの運搬、盛土箇所での敷均し、締固め、整形及び仕上げ、のり面仕上げ」となっていますが、場外仮置場で敷均し、締固め、仕上げを行うということではよろしいでしょうか。	ずり処理工 A 2 の作業内容は「ずり仮置場における敷き均し、整形、ずり仮置き場の掘削、積込み、本線盛土箇所までの運搬、敷き均し、締固め、整形及び、仕上げ、のり面仕上げ」を含みます。
3	特記仕様書 30-6-4 質問番号 2 により、場外ずり仮置場から本線盛土箇所への 2 次運搬に要する費用はどこに計上すればよいのか、ご教授願います。	ずり処理工 A 2 に含まれます。
4	特記仕様書 17-1 工事用道路の⑩⑮⑯の延長について、特記仕様書 17-1 の数値と設計図の位置図 (2) 及び土取場位置図の数値が一致しません。どちらを正とすればよろしいでしょうか。	工事用道路⑩⑮⑯の延長は設計図の記載が正しい値となります。

5	<p>ずり処理工 A2 の場外仮置場までの運搬ルートは、工事用道路⑩→⑨→⑧と、⑩→⑨→⑬→⑫→⑧のどちらを想定されているか御教示願います。また、客土掘削の運搬ルートについても同様に御教示願います。</p>	<p>設計図書及び現地条件に基づき運搬ルートをお考えください。          なお、工事用道路⑨については現地条件により土運搬は困難と考えております。</p>
6	<p>客土掘削の想定されている土質分類、またはC値を御教示ください。</p>	<p>R3.10.9 付け「質問書に対する回答」番号3をご確認ください。</p>
7	<p>特記仕様書 30-11-1-(3)-③          週休2日推進工事に伴い、特記仕様書 30-11-1-(3)-③において、トンネル工の月平均運転日を21日と設定されていますが、割掛対象表参考内訳書における吹付設備費等の設備期間(約11箇月)は月平均運転日を23日とした場合の値と思われます。機械損料の補正は21日/月、掘削工程は23日/月として計算されているものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>「割掛対象表 参考内訳書」の数量内訳(参考)の記載されているトンネル工は補正前の月平均運転日23日/月として計算しています。</p>
8	<p>閲覧資料          閲覧資料の施工設備計画(工事発注用)において、制御発破及び鏡吹付を考慮したサイクルタイムが計算されていますが、掘削サイクルタイムから鏡吹付分が控除されていません。このままでよろしいでしょうか。</p>	<p>鏡吹付分は必要となります。</p>
9	<p>閲覧資料          同じく、DI-a(H)-B1のサイクルタイム計算書で、鏡吹付の厚さが25mmになっていますが、設計図面では40mmになっています。どちらを正とすればよろしいでしょうか。</p>	<p>設計図面に記載のとおり鏡吹付コンクリートの厚さは4cmです。</p>

1 0	同じく、CⅡ-B2-L(H)のサイクルタイム計算書で、サイクルタイムの計に軽微な吹付等に要する時間の控除が反映されていません。このままでよろしいでしょうか。	軽微な吹付等に要する時間は控除されます。
1 1	広内川橋 P1、P2 およびペンケオタソイ川橋 A1 の基礎杭 場所打ちコンクリート杭 (人力掘削) のコンクリート数量 計 1,773.1m <sup>3</sup> がコンクリート B2-1 に計上されておられません。基礎杭 場所打ちコンクリート杭 (人力掘削) の単価項目に含まれるとの解釈でよろしいでしょうか。	そのとおりです。
1 2	大型コンクリートブロック積みの裏込めコンクリート 387.5m <sup>3</sup> がコンクリート D1-1 に計上されておられません。コンクリートブロック積工 大型コンクリートブロック積み(練)控 70 cmの単価項目に含まれるとの解釈でよろしいでしょうか。ご教授願います。	胴込コンクリートは共通仕様書 4-17-6 支払に記載のとおり、大型コンクリートブロック積み(練)控 70 cmの単価項目に含まれます。
1 3	施工設備計画 (工事発注用) P84、86、88、90 のサイクルタイム表で、掘削サイクルタイムを計算する際、鏡吹付時間が掘削サイクルタイムに入っているように計算されていますが、鏡吹付時間を控除するのではないのでしょうか。	番号 8 の回答と同様となります。
1 4	D1-a (H)-B1 のサイクルタイム表で、鏡吹付の厚さが、2.5cm となっているが 4.0cm でないのでしょうか。また鏡吹付時間が、29 分から 35 分になると考えますがいかがでしょうか。	設計図面に記載のとおり鏡吹付コンクリートの厚さは 4.0 c m です。なお、サイクルタイムは鏡吹付コンクリートの厚さ 4.0 c m 相当で計算ください。
1 5	C2L のサイクルタイム表の計 (Q) が 660 分となっているが、軽微な吹付等の施工に要する時間が、控除されていないと思われませんが、控除すると 635 分と考えられますがいかがでしょうか。	軽微な吹付等の施工に要する時間を控除したサイクルタイムで計算ください。

16	金抜設計書のトンネル掘削 C2-a-B2 の数量が、2,928m <sup>3</sup> となっているが、数量計算書 (REPORT25) 4-3 トンネル掘削 (3) 表中の非常駐車帯妻部の数量が、含まれていないと思われます。(25.4m <sup>3</sup> 少なく計上されている。)	トンネル掘削 C 2 - a - B 2 の数量は 2953.1m <sup>3</sup> となります。
17	吹付コンクリート C2-L が、数量明細書 4/7 で、855.3m <sup>2</sup> となっているが、これは、数量計算書 (REPORT25) 5-3 の 812.1m <sup>2</sup> に非常駐車帯妻部の数量を加えたものと思われますが、妻部は、21.6m <sup>2</sup> で 1 箇所のため、812.1+21.6=833.7m <sup>2</sup> でないか。2 箇所分の 43.2m <sup>2</sup> を加えた数量と思われます、いかがでしょうか。	吹付コンクリート C-L は 833.7 m <sup>2</sup> となります。
18	ロックボルト C(L=4.0m) で、避難連絡坑交差部の数量が、-4 本 (補強ボルト 5 本-撤去パターンボルト 9 本) となっているが、パターンボルトは、打設しているため 405+5+10+5=425 本と考えますがいかがでしょうか。	そのとおりです。
19	コンクリート A1-3(T) の数量 536m <sup>3</sup> には、坑門工のインバート部も含まれると思いますが、特記には繊維入りのためアーチ部、側壁部、面壁部と記載されます。インバート部にも繊維を混入すると考えてよろしいでしょうか。	坑門工のインバート部に使用するコンクリートは繊維を混入しないことから、坑門坑口のコンクリートは A1-3 (T) は 371.9m <sup>3</sup> 、A1-3 は 163.9m <sup>3</sup> となります。
20	西側坑門工の一般断面から拡幅断面 (非常駐車帯断面) に移行する 8m 部分の内型わくは、型わく T(L) に含まれると考えてよろしいでしょうか。 また数量 1158.5m <sup>2</sup> の内訳を公表して頂きたい。	西側坑門工の一般断面から拡幅断面 (非常駐車帯断面) に移行する内型わくは、型わく T(L) に含まれています。 型枠 T (L) の数量は一般断面 711.5 m <sup>2</sup> (拡幅部妻壁含まず) + 西側坑門工 403.7 m <sup>2</sup> = 1115.2 m <sup>2</sup> となります。
21	覆工防水工 A(B) の数量に避難連絡坑の数量が計上されていないと思われますが、いかがでしょうか。	覆工防水工 A(B) の数量は、本坑部の 15,858m <sup>2</sup> としております。 なお、避難連絡坑部は監督員が必要と認めた場合は設計変更の対象となります。

2 2	中央排水管のφ300（有孔管）の延長は、接続管の延長を控除した数量と考えてよろしいでしょうか。	土木設計数量算出要領 第15章トンネル工関係 P15-74に記載のとおり、中央排水管の積算延長に接続管は含まず、検測延長に接続管は含みます。
2 3	接続管は、横断排水工A,Bで計上と考えてよろしいでしょうか。	土木設計数量算出要領 第15章トンネル工関係 P15-74に記載のとおり、横断排水管の積算・検測延長に接続管は含みます。